



吉田右子 Yuko YOSHIDA
教授 Professor
博士 (教育学) Ph.D.
Keywords: 公共図書館論
Contact: yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp



Graduate
School of
Library,
Information and
Media Studies

筑波大学
University of Tsukuba

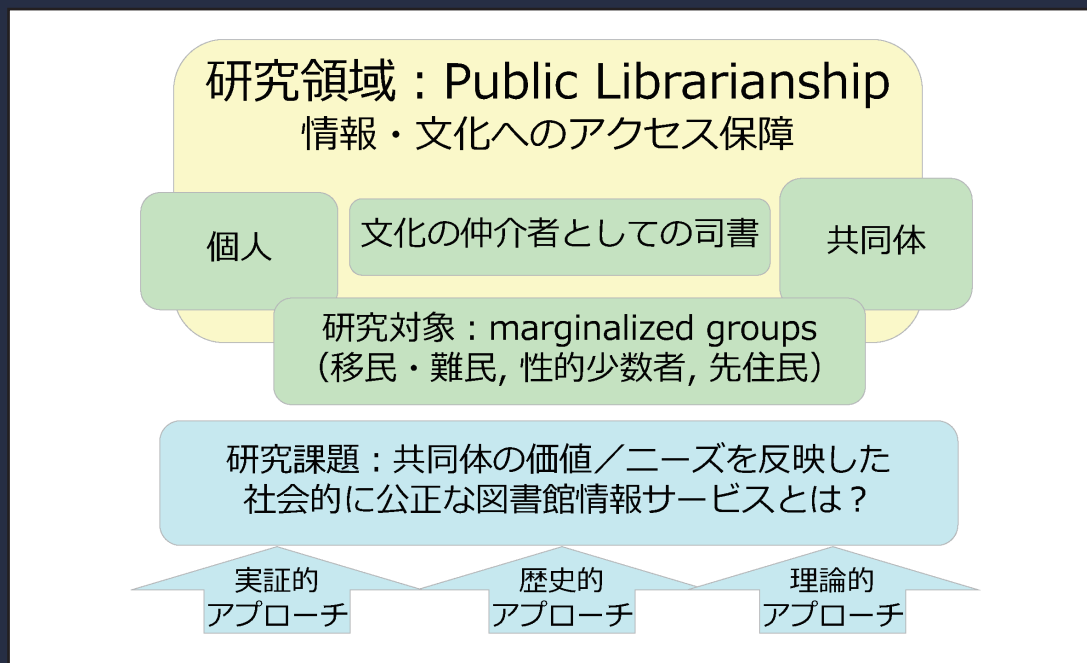
研究概要

既存の公共図書館が主流文化を中心としたマジョリティへのサービス機関であったことを問題化し、社会的・文化的・政治的マイノリティへのサービスという周縁部分から図書館サービスを逆照射しつつ、公共図書館のあらたな位置づけをコミュニティの多様性を基点とする社会的包摂の立場から再構築する批判的図書館研究を進めてきました。

現在は公共図書館が歴史的に継承してきた学習支援や情報アクセスに関わる理念を再検証し、21世紀社会における公共

図書館の存在意義を社会的公正の観点から明らかにする研究を行っています。具体的には(1)生涯学習の場所としての北ヨーロッパ公共図書館の機能に関わる実証的研究、(2)アメリカ公共図書館の理念および実践にかかわる歴史的研究、(3)日本における地域住民と公共図書館の関係性にかかわる理念的研究、の3系統の研究を通じ、図書館サービスと図書館に影響を及ぼす政治的・社会的・文化的諸力の関係性を分析し、公共図書館の文化的存立基盤を検討しています。

www.slis.tsukuba.ac.jp



論文

- 1) 吉田右子『オランダ公共図書館の挑戦：サービスを有料にするのはなぜか？』新評論, 2018, 252p.
- 2) 小林ソーデルマン淳子・吉田右子・和気尚美『読書を支えるスウェーデンの公共図書館：文化・情報へのアクセスを保障する空間』新評論, 2012, 260p.
- 3) 吉田右子『先住民共同体と図書館情報サービス』『現代の図書館・図書館思想の形成と展開』川崎良孝・吉田右子 編著, 京都図書館情報学研究会, 2017, p. 63-92.
- 4) 吉田右子, 川崎良孝『アメリカ図書館協会における同性愛差別法反対運動：図書館専門職の社会的責任』『図書館界』64(5), 2013, p. 328-341.
- 5) Yuko Yoshida "Public libraries as places for empowering women through autonomous learning activities," Information Research, 18(3), 2013. <http://informationr.net/ir/18-3/colis/contents.html>
- 6) Yuko Yoshida "Creating a space for autonomous learning and citizen involvement in collaboration with a public library," New Library World, 117(9/10), 2016, p. 659-672.

社会貢献活動

北欧の公共図書館に関わる研究成果について、シンポジウム・講演・研究会・取材などを通じて情報発信しています。『ビッグイシュー日本版』(304号, 2017年2月1日)への取材協力、「武蔵野プレイス5周年記念プレイス・フェスタ」(2016年7月)へのパネリストとしての出席のほか、日本図書館協会主催の建築研修会、明治大学リバティアカデミー「図書館員のためのブラッシュアップ講座」などで「対話のあるにぎやかな図書館」について講演を行いました。

メッセージ

21世紀の図書館の存在意義は、国や館種を問わず文化格差を埋めることにあります。中でも公共図書館は情報と文化への無料アクセスを保障することで、社会的・文化的に不利な立場・弱い立場に置かれた人びとを包みこんで、文化的包摂を目指します。そのために図書館資源を調整する理念が求められています。また公共図書館が他者への想像力を育む装置となるための仕掛けを作ることも必要です。こうしたチャレンジな課題を一緒に考えていきませんか。